

投資信託にはどんな種類がある？賢い選び方のポイント

近年、資産形成の手段として需要が高まっている投資信託。でも、いざ投資信託をはじめたいと思ってもその数は約6000本もあり、初心者にはどれを選んだらいいのか迷ってしまいます。そこで今回はファイナンシャルプランナーの山中伸枝さんに、投資信託にはどんな種類があり、どう選べばいいのか、そのポイントを教えてください。



1. 投資対象は、世界中の資産クラスに分散投資できる「バランス型」に

そもそも投資信託（ファンド）とは、投資の専門家（ファンドマネージャー）が国内や海外の株式、債券、不動産といった「資産クラス（＝さまざまな投資先）」を数多く選んで組み合わせ、パッケージ化したものです。投資信託を選ぶ際はまず、どの資産クラスを投資対象としているのか、パッケージの内訳を知ることが大切です。

資産クラスには、一方の価格が上がるともう一方の価格が下がるという「シーソーの関係」を持つものがあります。例えば、株式と債券は「シーソーの関係」にあります。株価が下がると景気が悪化するので金利が下がり、その結果債券の価格が上がります。反対に、株価が上がると金利も上がるため、債券の価格は下がります。

また、国内市場と海外市場も「シーソーの関係」にあります。ドル安のときは円高に、ドル高のときは円安になることをイメージするとわかりやすいと思います。こうした「シーソーの関係」にある資産クラスに分散させて投資すると、リスクを抑えて安定したリターンを得やすくなります。つまり、株式と債券の両方に投資したり、国内と海外のどちらにも投資している投資信託のほうが、より安定的な成果が見込めるわけです。

そこでおすすめなのが、国内外のさまざまな資産クラスに分散投資できる「バランス型」や「バランスファンド」と呼ばれる投資信託です。ただしバランスファンドの内訳もさまざまで、株式の配分が多いものあれば、債券の配分が多いものもあります。株式はリスクが高いけれど大きな収益が期待でき、債券はリスクが低いけれどリターンも低いので、多少のリスクを取ってもより大きな成果を狙いたい場合は株式の配分が多いバランスファンドを、できるだけリスクを取りたくない場合は債券の配分が多いバランスファンドを選ぶといいでしょう。

2. 運用方法は、株価指数に連動する「インデックスファンド」を選ぶ

投資信託には、運用方法で区分する分類の仕方もあります。ひとつは、株価指数（TOPIXや日経平均株価等）に連動するように運用する「インデックスファンド（パッシブファンド）」。もうひとつは、株価指数を上回る運用成果を目指す「アクティブファンド」です。アクティブファンドはインデックスファンドよりも大きな成果を得られる可能性がありますが、コストが高く、またその成果も約束されたものではありません。初心者の場合は、低コストで市場平均に連動する運用成果が見込めるインデックスファンドから始めるのがいいでしょう。

以上のポイントを踏まえて、実際に投資信託を探してみましょう。

「投資信託 検索」でキーワード検索すると、証券会社等の投資信託検索サイトが見つかります。そのサイトに移動したら、投資対象資産は「バランス型」または「複合資産」、投資対象地域は「グローバル（全世界）」、インデックスファンドに絞らば「インデックス」の項目を選んで検索してみましょう。いくつか投資信託のファンド名がリストアップされるので、各ファンドの「目論見書（もくろみしょ）」をチェックします。目論見書とは投資信託の説明書のようなもので、投資対象となる資産クラスや地域の配分も記載されています。

さらに、「リターン（＝利益）」「リスク（＝価格の変動幅）」「シャープレシオ（＝リスクに対してどれだけ高いリターンが得られるか）」の数値や手数料等も比較してみるといいでしょう。

これらのポイントで投資信託をチェックしていくことで、だんだんと投資信託を選ぶ目が養われていきます。自分にぴったりの投資信託を見つけるために、こうした知識を活用してみてください。

監修 山中伸枝さん

ファイナンシャルプランナー（FP）、FP相談ねっと代表、一般社団法人公的保険アドバイザー協会理事。

1993年米国オハイオ州立大学ビジネス学部卒業後、メーカーに勤務。ファイナンシャルプランナーとして2002年に独立。現在は年金と資産運用、特に確定拠出年金やNISAの講演、ライフプランの相談で全国を飛び回りながら、ウェブやマネー誌等で情報発信する等、お金のアドバイザーとして精力的に活動している。

『50歳を過ぎたらやってはいけないお金の話』（東洋経済新報社）、『いちからわかる！ つみたてNISA&iDeCo制度改正対応版』（インプレス）、『書けばわかる！ 節約・預金だけではもったいない わたしにピッタリなお金の増やし方』（翔泳社）等著書多数。

<https://www.nobueyamanaka.com/>

<取扱代理店>

〇〇保険事務所 代表 三井住友 太郎

〒000-0000 △△市 × × 0-00-0 〇〇B-201 TEL:000-000-0000 FAX:000-000-0000